

開催日時 11 月 1 日 ( 月 ) 会場 阿須運動公園ホッケー場 天候 晴れ

## 【試合結果】

<女子>					
第1試合	中京大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 6 \\ 0 & - & 7 \end{pmatrix}$	13	立命館大学
9:30					
<女子>					
第2試合	山梨学院大学	11	$\begin{pmatrix} 5 & - & 0 \\ 6 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	法政大学
11:00					
<男子>					
第3試合	早稲田大学	2	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	明治大学
12:30					
			PS 3 - 4		
<男子>					
第4試合	立命館大学	4	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	慶應義塾大学
14:00					

【試合の結果・詳細】

中央大学 0  $\begin{pmatrix} 0 & -6 \\ 0 & -7 \end{pmatrix}$  13 立命館大学  
関東 関西

戦評	試合開始直後から立命館大学の怒涛の攻撃は始まった。まずは前半4分、立命館大学No.10阪口真紀が1点目をあっさりと決める。それに続き、華麗なパスつなぎで立命館大学No.21山内理恵子が7分間で3点を決め、完全に勢いづく。6-0の立命館大学リードで前半は終了。さらに後半12分、立命館大学No.11治多絵里奈が技ありのリバースシュートを決める。このままでは終われない中京大学はカウンター攻撃を仕掛けるもなかなか決定機まで結びつかない。その後も立命館大学は順調に得点を重ね、13-0で試合は終了した。中京大学にとっては立命館大学に実力を見せつけられる結果となってしまった。
----	--

山梨学院大学 11  $\begin{pmatrix} 5 & -0 \\ 6 & -0 \end{pmatrix}$  0 法政大学  
関東 関東

戦評	前半5分、スピードのあるドリブルとパスで攻めた山梨学院大学が先制。さらに2点を追加する。23分には、山梨学院大学No.18伴田久美の強烈なシュートがゴールに突き刺さる。その後も山梨学院大学が点を重ね、5-0で前半は終了した。後半は笛と同時に山梨学院大学がドリブルで25ヤードまで攻め、そのままNo.20谷口育代が豪快なヒットシュートを決めた。法政大学はカウンター攻撃を狙うも山梨学院大学の鉄壁の守りをなかなか崩せない。その後も山梨学院大学がPGの決定率の高さを見せ、11-0で試合は終了した。
----	--

早稲田大学 2  $\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$  2 明治大学  
 関東 PS 3 - 4 関東

戦評	<p>早稲田大学のセンターパスによってスタートした前半は序盤から両者互角の戦いを見せる。試合が動いたのは23分、早稲田大学No.10吉田啓太のヒットシュートをNo.17山本一輝が押し込み先制。しかし2分後、明治大学No.14毛利康平が右コーナーからのタッチシュートを決め、試合は振り出しに戻る。そこから明治大学がペースをつかむが、早稲田大学が守りきり前半は終了した。後半は開始3分で早稲田大学がカウンター攻撃からPCを奪い、No.14吉田竜が確実に決める。その後はしばらく攻防の入れ替わる展開が続いたが、31分に明治大学がPCを決め同点に追いつく。そのまま後半は終了しペナスト戦にもつれ込み、結果3-4で明治大学が勝利した。</p>
----	--

立命館大学 4  $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 3 & -1 \end{pmatrix}$  1 慶應義塾大学  
 関西 関東

戦評	<p>試合開始直後から立命館大学が怒涛の攻撃を見せるも、慶應義塾大学GKのナイスセーブに阻まれなかなか点が入らない。しかし21分、遂に立命館大学No.10福島駿介が先制点をあげる。その後も立命館大学が激しい攻めを繰り返し前半が終了した。後半は、開始3分に立命館大学が2点目を上げ、完全にペースをつかむも決めきれない。しかし24分にPCを奪った立命館大学のNo.3伊藤勇悟が豪快なフリックシュートを決める。その後慶應義塾大学は待望のPCを得るがシュートは惜しくもポストに弾かれる。立命館大学は更に一点を追加したが、試合終了間際に再びPCを得た慶應義塾大学がNo.14朝倉謙からの球をNo.17金子高大がタッチで決め、4-1で終了した。</p>
----	--